

1. ICT委員会 会議報告

愛知大学情報メディアセンターの事業および運営は、ICT企画会議のもと、三校舎合同のICT委員会を設置し、豊橋および名古屋(車道メディアゾーン含む)情報メディアセンターの事業を推進する。
(2016年10月から2017年9月まで)

2016年度

◇第3回10月5日

1. 2016年度補正予算申請について
2. 愛知大学情報メディアセンター利用規則改正について
3. 事務組織再編に伴うノート型パソコン貸出内規の一部改正について
4. 2017年度実習室利用アンケートについて

協議・報告事項

1. COM表紙応募作品の審査および採用について
2. 2017年度新規予算申請について

◇第4回11月25日

1. 学内無線LAN用SSIDについて
2. 2017年度教育用ソフトウェア利用申請書について
3. 2017年度予算申請について

協議・報告事項

1. 2017年度情報メディアセンター開館スケジュールについて

2017年度

◇第1回5月17日

1. COM編集委員選出について
2. 情報セキュリティ部会委員選出について

3. ルータのホスト接続申請承認条件の変更について
4. ホスト接続申請システムの改修について

協議・報告事項

1. 2016年度事業報告書について
2. 2017年度事業計画書について
3. 2018年度実習室OSについて

◇第2回9月15日

1. ファイアウォール更新について
2. 名古屋インフラサーバ更新について
3. 教育研究PC更新について
4. ホスト接続利用内規の改正について

協議・報告事項

1. 2017年度補正予算申請、2018年度新規予算申請について
2. 秋学期教育用ソフトウェア利用申請について
3. 2018年度実習室アンケートについて
4. Office365 ProPlusの教員利用について
5. @qq.comからの大量の迷惑メールについて

2. 情報メディアセンター主催行事

(2016年10月～2017年9月)

◆豊橋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月12日(水)	Excel2013講習会 グラフ編	423教室	3人
10月14日(金)	Word2013講習会 応用編	423教室	2人
10月17日(月)	Word2013講習会 応用編	523教室	3人
10月19日(水)	Excel2013講習会 関数編	423教室	3人
11月9日(水)	Word2013講習会 応用編	423教室	4人
11月14日(月)	Excel2013講習会 グラフ編	523教室	2人
11月21日(月)	Word2013講習会 応用編	523教室	1人
11月29日(火)	Excel2013講習会 グラフ編	523教室	1人
11月30日(水)	Excel2013講習会 関数編	523教室	4人
5月9日(火)	Excel2013講習会 基礎編	421教室	10人
5月19日(金)	Word2013講習会 基礎編	421教室	5人
6月20日(火)	Word2013講習会 基礎編	421教室	9人
6月26日(月)	Excel2013講習会 基礎編	421教室	11人
9月27日(水)	Excel2013講習会 関数編	421教室	1人

◆名古屋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月5日(水)	グラフ作成講習会 (Word2013)	L712教室	3人
10月10日(月)	エクセル関数講習会 (Word2013)	L713教室	6人
10月12日(水)	パワーポイント講習会 (PowerPoint2013)	L712教室	1人
10月20日(木)	文書作成講習会 (Excel2013)	L713教室	5人
10月28日(金)	パワーポイント講習会 (PowerPoint2013)	L713教室	2人
10月31日(月)	エクセル関数講習会 (Word2013)	L713教室	1人
11月14日(月)	エクセル関数講習会 (Word2013)	L713教室	3人
11月18日(金)	グラフ作成講習会 (Word2013)	L713教室	3人
11月24日(木)	文書作成講習会 (Excel2013)	L713教室	3人

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
11月28日(月)	グラフ作成講習会(Word2013)	L713教室	1人
11月30日(水)	グラフ作成講習会(Word2013)	L707教室	18人
12月2日(金)	グラフ作成講習会(Word2013)	L712教室	2人
12月2日(金)	エクセル関数講習会(Word2013)	L709教室	2人
12月6日(火)	文書作成講習会(Excel2013)	L707教室	3人
12月14日(水)	グラフ作成講習会(Word2013)	L713教室	1人
12月16日(金)	パワーポイント講習会(PowerPoint2013)	L713教室	3人
12月21日(水)	エクセル関数講習会(Word2013)	L713教室	3人
1月16日(月)	文書作成講習会(Excel2013)	L708教室	1人
1月18日(水)	エクセル関数講習会(Word2013)	L712教室	1人
1月19日(木)	エクセル関数講習会(Word2013)	W404教室	1人
1月25日(水)	パワーポイント講習会(PowerPoint2013)	W404教室	1人
1月25日(水)	グラフ作成講習会(Word2013)	W404教室	1人
2月3日(金)	文書作成講習会(Excel2013)	W403教室	1人
2月3日(金)	グラフ作成講習会(Word2013)	W403教室	1人
5月8日(月)	グラフ作成講習会(Word2013)	L713教室	1人
5月9日(火)	文書作成講習会(Excel2013)	L713教室	5人
5月11日(木)	グラフ作成講習会(Word2013)	L712教室	6人
5月15日(月)	文書作成講習会(Excel2013)	L713教室	4人
5月18日(木)	エクセル関数講習会(Word2013)	L713教室	8人
5月23日(火)	グラフ作成講習会(Word2013)	L713教室	6人
5月26日(金)	エクセル関数講習会(Word2013)	L713教室	2人
6月2日(金)	パワーポイント講習会(PowerPoint2013)	L713教室	1人
6月5日(月)	グラフ作成講習会(Word2013)	L713教室	1人
6月13日(火)	エクセル関数講習会(Word2013)	L713教室	2人
6月14日(水)	グラフ作成講習会(Word2013)	L708教室	20人
7月5日(水)	パワーポイント講習会(PowerPoint2013)	L710教室	3人

◆車道校舎：主催行事なし

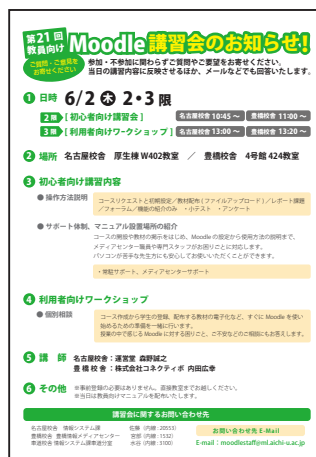
2016年度LMS運営協議会活動報告

1. Moodle 講習会

Moodleの利用促進のため、Moodle利用講習会を以下の通り実施した。

①第21回 Moodle 講習会

校舎	開催日時	場所
豊橋	6月2日 2限	4号館 424教室
	6月2日 3限	4号館 424教室
名古屋	6月2日 2限	厚生棟 W402教室
	6月2日 3限	厚生棟 W402教室



第21回 Moodle講習会のお知らせ!
 参加・不参加に関わらずご質問やご要望をお寄せください。当日の講習内容に反映できるほか、メールなどでもご回答いたします。

①日時 6/2 2・3限
②期 [初心者向け講習会] 名古屋校舎 1045室 / 豊橋校舎 1100室
 [利用者向けワークショップ] 名古屋校舎 1300室 / 豊橋校舎 1320室

③場所 名古屋校舎 厚生棟 W402教室 / 豊橋校舎 4号館 424教室

④初心者向け講習内容
 ● 操作方法説明 コースリストと新機能/機能別(フィードバック/レポート/課題/フォーム/権限の紹介) ・テスト・アンケート
 ● サポート体制: マニュアル設置場の紹介
 コースの更新や教材の作成をはじめ、Moodleの更新から授業内容の更新まで、メディアセンター-職員専門スタッフのサポートに対応いたします。
 パソコンが苦手な先生にも安心してご利用いただくことができます。
 ・電話サポート、メディアセンターサポート

⑤利用者向けワークショップ
 ● 個別相談 コース内蔵から学生の登録、教習する教材の電子化など、すでに Moodle を使い始めるための準備を一掃いたします。
 授業の中で使っている Moodle に移行する際のこと、ご変更などのご相談にも応じます。

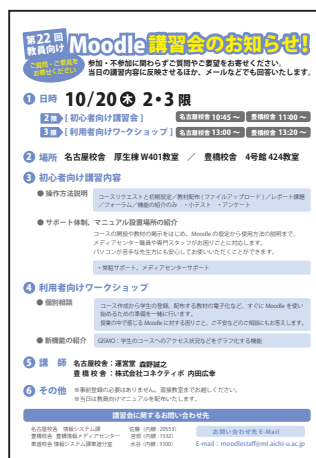
⑥講師 名古屋校舎: 運営室 森野 純之
 豊橋校舎: 株式会社コネクティブ 内田 広希

⑦その他 ※事前登録の必要はありません。満席までお申し込みください。
 ※当日は事前登録でコースを配布いたします。

講習会に関するお問い合わせ先
 名古屋校舎 情報システム課 電話: 0531-25511 本館1階 情報室 E-mail: info@nitech.ac.jp
 豊橋校舎 豊橋情報メディアセンター 電話: 0539-11527 本館1階 1100号室 E-mail: moodlestaff@nitech.ac.jp
 豊橋校舎 豊橋システム課 電話: 0539-11500 本館1階 1300号室 E-mail: moodlestaff@nitech.ac.jp

②第22回 Moodle 講習会

校舎	開催日時	場所
豊橋	10月20日 2限	4号館 424教室
	10月20日 3限	4号館 424教室
名古屋	10月20日 2限	厚生棟 W401教室
	10月20日 3限	厚生棟 W401教室



第22回 Moodle講習会のお知らせ!
 参加・不参加に関わらずご質問やご要望をお寄せください。当日の講習内容に反映できるほか、メールなどでもご回答いたします。

①日時 10/20 2・3限
②期 [初心者向け講習会] 名古屋校舎 1045室 / 豊橋校舎 1100室
 [利用者向けワークショップ] 名古屋校舎 1300室 / 豊橋校舎 1320室

③場所 名古屋校舎 厚生棟 W401教室 / 豊橋校舎 4号館 424教室

④初心者向け講習内容
 ● 操作方法説明 コースリストと新機能/機能別(フィードバック/レポート/課題/フォーム/権限の紹介) ・テスト・アンケート
 ● サポート体制: マニュアル設置場の紹介
 コースの更新や教材の作成をはじめ、Moodleの更新から授業内容の更新まで、メディアセンター-職員専門スタッフのサポートに対応いたします。
 パソコンが苦手な先生にも安心してご利用いただくことができます。
 ・電話サポート、メディアセンターサポート

⑤利用者向けワークショップ
 ● 個別相談 コース内蔵から学生の登録、教習する教材の電子化など、すでに Moodle を使い始めるための準備を一掃いたします。
 授業の中で使っている Moodle に移行する際のこと、ご変更などのご相談にも応じます。

⑥新機能の紹介 GNO: 学生のコースへのアクセス状況などをグラフ化する機能

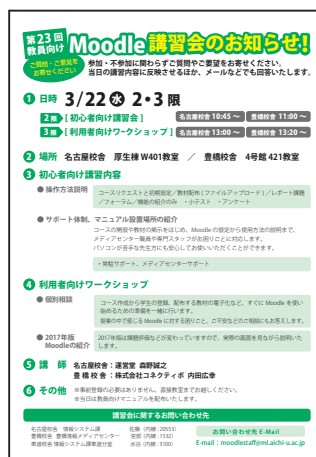
⑦講師 名古屋校舎: 運営室 森野 純之
 豊橋校舎: 株式会社コネクティブ 内田 広希

⑧その他 ※事前登録の必要はありません。満席までお申し込みください。
 ※当日は事前登録でコースを配布いたします。

講習会に関するお問い合わせ先
 名古屋校舎 情報システム課 電話: 0531-25511 本館1階 情報室 E-mail: info@nitech.ac.jp
 豊橋校舎 豊橋情報メディアセンター 電話: 0539-11527 本館1階 1100号室 E-mail: moodlestaff@nitech.ac.jp
 豊橋校舎 豊橋システム課 電話: 0539-11500 本館1階 1300号室 E-mail: moodlestaff@nitech.ac.jp

③第23回 Moodle 講習会

校舎	開催日時	場所
豊橋	3月22日 2限	4号館 421教室
	3月22日 3限	4号館 421教室
名古屋	3月22日 2限	厚生棟 W401教室
	3月22日 3限	厚生棟 W401教室



第23回 Moodle講習会のお知らせ!
 参加・不参加に関わらずご質問やご要望をお寄せください。当日の講習内容に反映できるほか、メールなどでもご回答いたします。

①日時 3/22 2・3限
②期 [初心者向け講習会] 名古屋校舎 1045室 / 豊橋校舎 1100室
 [利用者向けワークショップ] 名古屋校舎 1300室 / 豊橋校舎 1320室

③場所 名古屋校舎 厚生棟 W401教室 / 豊橋校舎 4号館 421教室

④初心者向け講習内容
 ● 操作方法説明 コースリストと新機能/機能別(フィードバック/レポート/課題/フォーム/権限の紹介) ・テスト・アンケート
 ● サポート体制: マニュアル設置場の紹介
 コースの更新や教材の作成をはじめ、Moodleの更新から授業内容の更新まで、メディアセンター-職員専門スタッフのサポートに対応いたします。
 パソコンが苦手な先生にも安心してご利用いただくことができます。
 ・電話サポート、メディアセンターサポート

⑤利用者向けワークショップ
 ● 個別相談 コース内蔵から学生の登録、教習する教材の電子化など、すでに Moodle を使い始めるための準備を一掃いたします。
 授業の中で使っている Moodle に移行する際のこと、ご変更などのご相談にも応じます。

● 2017年度 Moodleの紹介 2017年度は講師陣の協力によってありますので、更新の箇所を見ながらご説明いたします。

⑦講師 名古屋校舎: 運営室 森野 純之
 豊橋校舎: 株式会社コネクティブ 内田 広希

⑧その他 ※事前登録の必要はありません。満席までお申し込みください。
 ※当日は事前登録でコースを配布いたします。

講習会に関するお問い合わせ先
 名古屋校舎 情報システム課 電話: 0531-25511 本館1階 情報室 E-mail: info@nitech.ac.jp
 豊橋校舎 豊橋情報メディアセンター 電話: 0539-11527 本館1階 1100号室 E-mail: moodlestaff@nitech.ac.jp
 豊橋校舎 豊橋システム課 電話: 0539-11500 本館1階 1300号室 E-mail: moodlestaff@nitech.ac.jp

2. Moodle 利用状況

(A) コース利用状況

運用開始8年目の2016年度は、557コース、延べ282名の教員の利用があった。
合計コース数および利用教員数ともに、前年度と比較して約20%増加した。

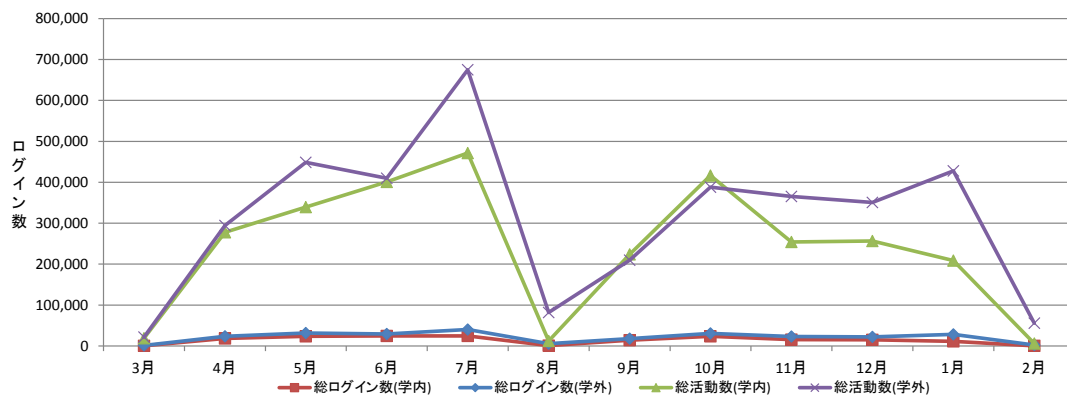
2016・2015年度コース登録数及び利用教員数（利用人数は、延べ人数）

カテゴリ	16年度春学期		16年度秋学期		合計		前年比率	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	74	36	15	7	89	43	139%	148%
共通教育科目〈名古屋〉	38	24	35	21	73	45	91%	98%
法	26	15	6	3	32	18	114%	106%
現中	16	8	9	5	25	13	93%	81%
経営	61	22	10	5	71	27	109%	108%
経済	26	17	12	10	38	27	131%	129%
文	43	21	24	11	67	32	112%	133%
国コミ	29	9	27	9	56	18	151%	164%
地域	39	18	12	9	51	27	134%	142%
短大	5	4	2	2	7	6	88%	150%
法科	7	3	0	0	7	3	70%	50%
会計	0	0	0	0	0	0	0%	0%
大学院	4	2	3	2	7	4	700%	400%
資格課程	22	9	7	5	29	14	725%	467%
その他	3	3	2	2	5	5	500%	500%
合計	393	191	164	91	557	282	122%	125%

カテゴリ	15年度春学期		15年度秋学期		合計		前年比率	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	35	16	29	13	64	29	136%	121%
共通教育科目〈名古屋〉	52	26	28	20	80	46	83%	121%
法	19	11	9	6	28	17	108%	121%
現中	15	9	12	7	27	16	113%	114%
経営	45	17	20	8	65	25	96%	89%
経済	14	9	15	12	29	21	153%	131%
文	41	15	19	9	60	24	188%	126%
国コミ	24	7	13	4	37	11	86%	73%
地域	22	11	16	8	38	19	81%	100%
短大	6	3	2	1	8	4	80%	80%
法科	9	5	1	1	10	6	143%	100%
会計	4	2	0	0	4	2	400%	200%
大学院	0	0	1	1	1	1	20%	25%
資格課程	0	0	4	3	4	3	67%	60%
その他	0	0	1	1	1	1	50%	100%
合計	286	131	170	94	456	225	105%	108%

(B) サイトアクセス状況

2016年度 学内・学外からのログイン数・活動数推移（月別）



		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	平均
2014年度	総ログイン数(学内)	422	23,432	20,815	24,106	23,120	580	11,477	18,695	15,879	16,254	9,666	358	164,804	13,734
	総ログイン数(学外)	949	18,845	19,571	20,438	31,537	2,979	11,344	21,338	17,437	18,741	23,653	1,738	188,570	15,714
	総活動数(学内)	6,125	262,064	237,469	358,035	332,887	6,766	132,431	208,835	170,986	170,574	129,664	3,690	2,019,526	168,294
	総活動数(学外)	10,375	174,669	177,379	191,456	345,124	35,882	102,170	178,857	137,450	142,081	250,511	15,049	1,761,003	146,750
	ログインあたり活動数(学内)	14.51	11.18	11.41	14.85	14.40	11.67	11.54	11.17	10.77	10.49	13.41	10.31	145.71	12.25
	ログインあたり活動数(学外)	10.93	9.27	9.06	9.37	10.94	12.04	9.01	8.38	7.88	7.58	10.59	8.66	113.71	9.34
2015年度	総ログイン数(学内)	472	19,208	17,197	22,004	21,478	604	10,796	21,169	18,094	16,151	11,034	384	158,591	13,216
	総ログイン数(学外)	1,119	20,744	22,111	21,365	34,574	3,837	12,904	24,540	23,599	21,318	31,171	1,738	219,020	18,252
	総活動数(学内)	11,393	256,288	229,328	315,176	355,160	8,376	129,090	249,924	205,368	178,020	163,640	6,136	2,107,899	175,658
	総活動数(学外)	9,393	187,352	210,289	236,483	425,343	53,728	127,574	242,288	219,904	185,126	353,718	17,677	2,268,875	189,073
	ログインあたり活動数(学内)	24.14	13.34	13.34	14.32	16.54	13.87	11.96	11.81	11.35	11.02	14.83	15.98	13.29	14.38
	ログインあたり活動数(学外)	8.39	9.03	9.51	11.07	12.30	14.00	9.89	9.87	9.32	8.68	11.35	10.17	10.36	10.30
2016年度	総ログイン数(学内)	577	18,581	23,614	24,558	24,551	844	14,144	23,480	15,386	14,911	11,525	381	172,552	14,379
	総ログイン数(学外)	1,296	23,523	31,883	29,171	40,270	5,696	17,807	30,686	22,910	22,402	28,114	2,155	255,913	21,326
	総活動数(学内)	18,659	277,868	339,264	400,772	471,513	12,141	223,648	416,410	254,346	256,717	208,724	6,073	2,886,135	240,511
	総活動数(学外)	21,593	294,414	448,733	409,696	674,779	81,657	209,594	388,324	365,260	350,506	428,094	55,851	3,728,501	310,708
	ログインあたり活動数(学内)	32.34	14.95	14.37	16.32	19.21	14.39	15.81	17.73	16.53	17.22	18.11	15.94	16.73	17.74
	ログインあたり活動数(学外)	16.66	12.52	14.07	14.04	16.76	14.34	11.77	12.65	15.94	15.65	15.23	25.92	14.57	15.46
前年同月比	総ログイン数(学内)	122.2%	96.7%	137.3%	111.6%	114.3%	139.7%	131.0%	110.9%	85.0%	92.3%	104.4%	99.2%	108.8%	108.8%
	総ログイン数(学外)	115.8%	113.4%	144.2%	136.5%	116.5%	148.4%	138.0%	125.0%	97.1%	105.1%	90.2%	124.0%	116.8%	116.8%
	総活動数(学内)	163.8%	108.4%	147.9%	127.2%	132.8%	144.9%	173.2%	166.6%	123.8%	144.2%	127.6%	99.0%	136.9%	136.9%
	総活動数(学外)	229.9%	157.1%	213.4%	173.2%	158.6%	152.0%	164.3%	160.3%	166.1%	189.3%	121.0%	316.0%	164.3%	164.3%

3. ICT委員会構成員

◆ICT委員（2017年10月1日現在）

役職名	所 属	氏 名
情報メディアセンター所長	法 学 部	松井 吉光
委 員	文 学 部	関 義正
	地域政策学部	蔣 湧
	短期大学部	龍 昌治
	法 学 部	多田 哲也
	経 営 学 部	岩田 員典
	現代中国学部	吉川 剛
	経 済 学 部	池森 均
	国際コミュニケーション学部	梅垣 敦紀
	法科大学院	伊藤 博文

◆情報メディアセンター事務室

情報システム課	課 長	三浦 文博
	係 長	石原有希子
	課 員	太田 裕介
		佐藤 源
濱口 庸介		
情報システム課 豊橋分室	係 長	水谷 伸司
情報システム課 車道分室	係 長	宮部 浩之

4. 愛知大学 情報メディアセンター沿革・歴代所長

年度	組織		所長（任期）		システム沿革
			豊橋	名古屋	
1978					IBM製ホストコンピュータ4331 導入
1979					
1980	電子計算機センター	電子計算機センター委員会			
1981			津村 善郎 (1980. 4. 1～1982. 4. 30)		
1982					
1983			福田 治郎 (1982. 5. 1～1985. 3. 31)		
1984					
1985					
1986					
1987			高橋 正 (1985. 4. 1～1989. 3. 31)		
1988					第1期教育研究情報システム稼働 1988.4-1991.3
1989	情報処理センター	情報処理センター委員会 豊橋情報処理センター委員会 名古屋情報処理センター委員会		坂東 昌子 (1989. 4. 1～1990. 9. 30)	日立製ホストコンピュータ(HITAC M-640/20) 導入
1990					
1991			藤田 佳久 (1989. 4. 1～1994. 9. 30)	浅野 俊夫 (1990. 10. 1～1992. 9. 30)	第2期教育研究情報システム稼働 1991.4-1994.3
1992					
1993				有澤 健治 (1992. 10. 1～1994. 9. 30)	
1994					第3期教育研究情報システム稼働 1994.10-1997.3 (全校舎学内LAN敷設)
1995					
1996			樋口 義治 (1994. 10. 1～1998. 9. 30)	長谷部 勝也 (1994. 10. 1～1998. 9. 30)	
1997					第4期教育研究情報システム稼働 1997.4-2000.9 (延長6ヶ月)
1998					
1999			宮沢 哲男 (1998. 10. 1～2000. 3. 31)	有澤 健治 (1998. 10. 1～2000. 9. 30)	
2000					10月 第5期教育研究情報システム稼働
2001			小津 秀晴 (2000. 4. 1～2002. 9. 30)	田川 光照 (2000. 10. 1～2002. 9. 30)	
2002					
2003					
2004	情報メディアセンター	情報メディアセンター委員会 豊橋情報メディアセンター委員会 名古屋情報メディアセンター委員会		坂東 昌子 (2002. 10. 1～2006. 9. 30)	4月 第6期教育研究情報システム稼働
2005			龍 昌治 (2002. 10. 1～2008. 9. 30)		
2006		情報メディアセンター運営会議 豊橋情報メディアセンター運営会議 名古屋情報メディアセンター運営会議			
2007				中尾 浩 (2006. 10. 1～2008. 9. 30)	
2008		ICT企画会議 豊橋ICT委員会 名古屋ICT委員会			4月 第7期教育研究情報システム稼働
2009			蔭 湧 (2008. 10. 1～2010. 9. 30)		
2010				伊藤 博文 (2008. 10. 1～2012. 9. 30)	
2011			香掛 俊夫 (2010. 10. 1～2012. 9. 30)		
2012		ICT委員会			4月 新名古屋校舎システム稼働
2013				中尾 浩 (2012. 10. 1～2014. 9. 30)	
2014					
2015					
2016				松井 吉光 (2014. 10. 1～)	
2017					

自己紹介

情報システム課 太田 裕介

2014年に愛知大学採用後、3年間入試課で勤務しておりました。前職では自動車関連の会社でSEをしていたこともあり、はじめは大学職員という畑違いの環境に戸惑ったことを覚えています。例えば、高校で開催される大学説明会に参加した際、大学案内に沿って話をしているにもかかわらず高校生の興味・関心を引くことは難しく、どうすればこの大学に進学したいと思ってくれるだろうかと悩みました。しかし、これまでに経験したことのない業務ばかりでとても刺激的な日々を送ることができました。特に印象に残っていることは、入職1年目に担当した大学入試センター試験です。これまで本学が会場としていた豊橋校舎から名古屋校舎に移す初年度だったこともあり、すべてが一からの準備でした。さまざま事態を想定しながら準備を進め、試験直前には動員となる200名近い教職員への説明会を経て、ようやく当日を迎えました。準備の甲斐あって当日をトラブルなく終えた時には、とても大きな達成感を得たことを今でも覚えています。さて、少し前職のこともお話したいと思います。私が担当していた業務は、自動車開発の現場にモデルベース開発を推進させることでした。現状、紙の仕様書を作成し、技術者がコーディングしていたりと開発に多くの工数がかかります。モデルベース開発を導入することで開発期間、コストや人的ミスを削減するといったメリットがあります。そのため、開発現場でモデルベース開発を推進させるための開発プロセスの検討・提案といった業務をしておりました。

こういった経験を経て2017年4月から情報システム課にて勤務しております。所属校舎も車道から名古屋校舎へと変わりました。車道と名古屋校舎では雰囲気も大きく変わり、大学で働いていることを改めて実感した次第です。今年は私立大学連盟のキャリア・ディベロップメント研修に参加する機会を頂き、そこでの講演で印象的な言葉がありました。それは、「学生は自らの鏡」である。未来の社会を担う学生たちに求めたいことを、職員自ら実践するべきだという言葉です。入職時に大学通信の自己紹介欄に「皆様の貴重な学生生活を充実させる為に、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。」と決意を示したことを改めて感じました。今年で30歳になり、二児の父親です。子供の急激な成長に日々驚きとともに、自分も成長させてもらっていることを感じています。これからも入職時の初心と自分自身の能力向上の意識を大切に業務に励んでいきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

編集後記

今号は5人の先生方から論文等をお寄せいただきまして発刊の運びとなりました。本誌が引き続き情報提供の場としてご活用いただけていることはありがたいことです。

本誌の名称は「愛知大学情報メディアセンター紀要」ですが、「COM (コム)」という愛称もつけられています。30年近く前の1989年創刊ということで、この名の由来について事務局に問い合わせたところ「コンピューター、コミュニケーション、コミュニティ…からできた言葉です。親しみやすく、誰でも気軽に交流しあえるようなもの、かたくならず、それでいて役立つもの、そんなものにしたいたいの思いを込めて「コム」という愛称がつけられました」という回答をいただきました。ここでは「COM」の由来となった単語の1つである「コミュニケーション」から本誌の果たし得る役割について考えます。

コンピューター、コミュニティ、それぞれに対応する和語は「(電子) 計算機」「共同体」などでおおよそ事足ります。しかし、コミュニケーションに該当する適当な和語を見つけるのはなかなか難しいので、この語はそのままカタカナで用いられることが多いように思われます。では、コミュニケーションとは何でしょうか。ある定義によると、コミュニケーションの成立には、情報の送り手のアクションに対して受け手の側でリアクションが生じることが必要です。一方通行の場合はこれが成立したとは言えません。この理解はこの英語の由来となったラテン語の「共有すること」という意味にも合致します。

さて、では、本誌から発信される情報はどの程度読者と「共有」されているでしょうか。その情報に対して読者はどの程度反応を返してくれているでしょうか。どれほど有益な情報として受けとめていただけているでしょうか。今の時点でもたしかに多数の方にご愛読いただいています。一方で、創刊時の思いの実現のために、執筆者・事務職員はじめ関係者の多大な時間と労力の結晶である本誌を、単なる情報「提供」の場ではなく情報「共有」の場として、より広く学内外のみなさまにご利用いただけるように、よりたくさんの方の皆様のコミュニケーションツールとしていただけるように、さらに成長させていきたいものです。そのためにも定期的に投稿してくださるみなさま、現読者のみなさまにも、ぜひとも宣伝等、ご協力いただけますようお願いいたします。

新たな情報関連ツールの研究・教育現場への導入事例の紹介に加え、インストールや設定の際に生じる問題の解決策も示すことなどにより、実用的な情報共有の場とするのもよいかもしれません。これは「かたくならず、役に立つ」という主旨に沿った一つの方向性かもしれません。本誌が困ったときの情報源として、身近な先輩、市販専門誌、オンラインが出版しているような書籍、Web上にある他種多様な個人の覚書やQ&Aが掲載された掲示板等以外の選択肢になるのもよいことかもしれません。当然ながら、引き続き、情報倫理や高度な学術研究報告など、有意義で楽しい記事のご投稿も歓迎いたします。

それでは、次号以降につきましても、どうぞみなさまのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
(Y.S.)

愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉 原稿募集要項

情報メディアセンター紀要〈COM〉は、下記の要領で原稿を募集しています。詳細につきましては、情報メディアセンターまでお問い合わせください。

1. 著者の資格

- (1) 本学教職員および本学教職員との共著者
- (2) 本学非常勤教員
- (3) 本学学生（教員と共著とする。）
- (4) 編集委員会が認めたもの

2. 投稿原稿の内容

投稿原稿は未発表のもので、下記に関する内容とする。

- (1) 情報教育に関する理論と実践
- (2) 情報科学や情報工学に関する理論とその応用
- (3) 情報システムに関する調査、分析、理論
- (4) コンピュータを活用した研究、教育、および業務等の実践報告
- (5) 本学のコンピュータ利用に関して必要と思われる情報メディアセンターの報告
- (6) その他（編集委員会が認めたもの）

3. 投稿原稿の区分

投稿された原稿は編集委員会の審査に従って、下記のように区分して掲載する。ただし、法令等に抵触する、内容に著しい不備がある、執筆要項に従わないなどの問題があるものは、原稿の修正を依頼することや、掲載を見合わせることもある。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) 情報教育実践報告
- (4) 書評（新刊・古典・ソフトウェア）
- (5) 学会動向

※原稿の体裁と見本については別紙を参照のこと。

4. 原稿の提出要領

- (1) 原稿は、電子ファイルで提出すること。
- (2) 完成された投稿原稿のみを受理する。
- (3) 提出する電子ファイル名は、投稿原稿のタイトルとすること。
- (4) 図版等がある場合は、その電子ファイルもあわせて提出すること。
図版等のファイル形式はjpegとする。
- (5) 提出ファイルは、原則Microsoft Wordまたはテキスト形式とする。

ただし、その他の形式であっても編集委員会が認めた場合は受理する。

- (6) 裏表紙（目次用）として、タイトル、著者名の欧文を添えること。
- (7) 著者は連絡先（ゲラ等の送付先）の住所、電話番号を申し込み先の担当者まで連絡すること。

5. 投稿原稿の体裁

投稿原稿は横書きとし、図・表などは適切な場所に分かりやすく挿入すること。なお、投稿原稿はCOM編集委員会にて共通したフォーマットに統一する。

6. 校正

- (1) 校正は著者校正を2回とする。
- (2) 校正段階での内容の変更は、編集作業に支障をきたさない範囲で行なうこと。

7. 著作権

- (1) 提出された論文の著作権は、原則として愛知大学情報メディアセンターに属し、無断で複製あるいは転載することを禁じる。
- (2) 論文作成に際して用いたコンピュータソフトや映像ソフト等の著作権に関する問題は、著者の責任において処理済みであること。他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題が生じないように十分に配慮すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合、著者がその責を負う。
- (4) 著作人格権は著者に属する。
- (5) 本誌に掲載された原稿は、学内においては、愛知大学情報メディアセンターホームページおよび愛知大学リポジトリにてデジタル公開するものとする。
- (6) 本誌に掲載された原稿は、学外においては国立情報学研究所等へ登録される。

8. その他

- (1) 別刷りは著者に対して希望を調査し、原則として50部以内で無料進呈する。
- (2) 著者には紀要を2部進呈する。ただし希望があれば10部を限度として進呈する。

以上

申し込み・問い合わせ：愛知大学情報メディアセンター
担当：情報システム課 太田 裕介
E-mail：johosystem@ml.aichi-u.ac.jp
TEL：052-564-6117（内線20554）
FAX：052-564-6217（内線20569）

愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉 執筆要項

1. 執筆言語

和文もしくは英文とする。

2. 原稿

- (1) **論文**……和文の場合は30,000文字程度，英文の場合は15,000 words程度を上限とする。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (2) **研究ノート**……和文の場合は20,000文字程度，英文の場合は10,000 words程度を上限とする。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (3) **情報教育実践報告**……和文の場合は20,000文字程度，英文の場合は10,000 words程度を上限とする。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (4) **書評（新刊・古典・ソフトウェア）**……和文の場合は5,000文字程度，英文の場合は3,000 words程度を上限とする。書評（新刊・古典）には図版等を挿入することはできないが，ソフトウェアレビューについては若干の図版を添えることが出来る。
- (5) **学会動向**……COMのフォーマットに従う。
長文の場合は分裁や再提出等の措置を求めることがある。

3. 著者と所属

著者名と所属を記載し，著者名のあとにカッコ（ ）に入れて所属を記載する。

4. セクションタイトルとセクション記号

本文中の章，節，項，目などの立て方は，原則として以下のとおりとする。

(例)

1. 章タイトル
- 1.1 節タイトル
- 1.1.1 項タイトル
- (1) 目タイトル

5. 図・表・写真

図・表・写真は，本文中の適当な箇所に挿入すること。または，挿入箇所を明確にすること。

ただし，COM編集委員会にて挿入位置，サイズを変更する場合があるが，変更不可の場合は明記のこと。

(1) 表について

表の上部に「表○ 表名」（○は表の一連番号）を記載すること。

(2) 図・写真について

図・写真の下部に「図○ 図名」（○は図の一連番号）または「写真○ 写真名」（○は写真の一連番号）を記載すること。

6. 要旨とキーワード

論文と研究ノートには要旨とキーワードをつける。要旨は400字以内(200words以内)で執筆し、本文と同じ言語でもよいし、異なった言語でもよい。キーワードは国立情報学研究所のCiNii等への正確な登録のために、5～7語程度のキーワードをつける。

7. 謝辞

謝辞を記載する場合は、本文の最後に謝辞と小見出しを使い記載する。

8. 注

注を記載する場合は、以下のいずれかの方法による。

- (1) 該当ページの下部または見開きの前後2ページ分の後のページの本文の下部に脚注として記載する。
- (2) 本文の末尾に後注として一括して記載する。本文の後に1行空けてから「注」という見出しを立て、その次の行から、注を一括して記載する。

上記のいずれの場合も本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い^{注1)}のように上付きで記すこと。

9. 参考文献

参考文献の記載は、本文の後（注がある場合は注の後）に1行空けてから「参考文献」という見出しを立て、その次の行から、参考文献を一括して記載すること。本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い¹⁾のように上付きで記すこと。

参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順に記す。引用番号の記し方は本文上に出現した順番とし、次の例を参照にされたい。

(例)

- 1) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6-10（1960）.
- 2) Feldman, J.and Gries, D.: Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113（1968）.
- 3) 大山一夫：電子計算機，p.300，情報出版，東京（1991）.
- 4) Wilkes, M. V: Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, New York（1990）.

以上

愛知大学情報メディアセンター紀要 COM〔コム〕

Vol.28 No.1 第43号

2018年2月25日 印刷

2018年3月1日 発行

編集 愛知大学情報メディアセンター

〔COM〕編集委員会

発行 愛知大学情報メディアセンター

(名古屋) 名古屋市中村区平池町四丁目60-6

〒453-8777 TEL (052) 564-6117 (直通)

FAX (052) 564-6217

(豊橋) 豊橋市町畑町1-1

〒441-8522 TEL (0532) 47-4124 (直通)

FAX (0532) 47-4125

(車道) 名古屋市東区筒井二丁目10-31

〒461-8461 TEL (052) 937-8120 (直通)

FAX (052) 937-8121

COM表紙デザイン制作者名

経営学部 3年

名前：岡田 晃奈 (オカダ アキナ)

印刷 株式会社荒川印刷
